

健康づくりと予防の推進に関する各分野の取組状況

I. より良い生活習慣をつくる				
分野	主な指標の推移および目標値	平成26年度		平成27年度の主な取組
		主な取組	実績と課題	
栄養・食生活	<p>○主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をほぼ毎日とっている人の割合(日本型食生活実施率)(なら健康長寿基礎調査)</p> <p>【基準値】 47.1%(H24)</p> <p>【最新値】 36.5%(H25)</p> <p>【目標値】 52.0%(H34)</p> <p>○食塩摂取量(県民健康・栄養調査)</p> <p>【基準値】 男性 11.6g 女性 10.1g(H23)</p> <p>【目標値】 男性・女性ともに 8g(H34)</p>	<p>○健康寿命を延長する取組推進モデル(減塩対策分野)事業</p> <p>高血圧のハイリスク者を対象とした減塩教室プログラムを作成し、モデル市町村で実施</p> <p>○なら健康減塩食プロジェクト事業</p> <p>子育て世代を対象とした減塩ツールの作成と効果的に普及啓発できる手法を専門家を交えて検討</p>	<p>○減塩教室プログラムの作成</p> <p>市町村の減塩等に関する実施状況調査プログラムのモデル実施(広陵町)</p> <p>○「減塩ツール(紙芝居・リーフレット)」の作成</p> <p>子育て世代の食生活調査プロジェクトメンバーの学習会(2回)</p> <p>ワークショップ(2回)</p> <p>普及啓発方法の検討</p>	<p>健康寿命を延長する取組推進モデル(減塩対策分野)事業(900千円)</p> <p>○「減塩教室プログラム」(H26作成)を県内市町村に普及するための説明会の開催及びモデル市町村へのアドバイザー派遣</p> <p>なら減塩健康食プロジェクト事業(2,556千円)</p> <p>○「減塩ツール(紙芝居・リーフレット)」(H26作成)の活用を進めるため説明会及び減塩イベントの実施</p> <p>(資料3-1)</p>
		<p>○食育県民講座の開催</p> <p>栄養士養成5大学と連携して、「適塩」をテーマに実施</p> <p>○食育作文コンテストの実施</p> <p>多くの世代が食について考え、関心をもつことを目的に実施(小学校・中学校・高等学校・一般の部)</p>	<p>○食育県民講座の開催</p> <p>H27.2.7(延べ137名参加、於:畿央大学)</p> <p>H27.2.13(延べ139名参加、於:奈良佐保短期大学)</p> <p>減塩の行動変容につながる知識や情報を提供</p> <p>○食育作文コンテストの実施(687作品の応募)</p>	<p>○おでかけ健康フェスタにおいて、減塩・適塩をテーマに普及・啓発</p> <p>○食育作文コンテストの実施(おでかけ健康フェスタにおいて表彰)</p> <p>⑨県内大学生が創る奈良の食育未来事業(2,920千円)</p> <p>○奈良女子大学・地域栄養カレッジ事業</p> <p>「シニア向け」「子育て向け」の健康メニューの開発及び地域栄養カレッジの開講</p> <p>○帝塚山大学・無病促菜で元気100%事業</p> <p>県内のモデル高校で食に関する課外授業を実施及び「大和情熱野菜」を使用した弁当の提案・販売</p>

I. より良い生活習慣をつくる				
分野	主な指標の推移および目標値	平成26年度		平成27年度の主な取組
		主な取組	実績と課題	
身体活動・運動	<p>○日常生活における歩数（県民健康・栄養調査）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20～64歳 【基準値】男性 8,805 歩、女性 8,030 歩 (H23) 【目標値】男性 9,000 歩、女性 8,500 歩 (H34) ・65歳以上 【基準値】男性 6,868 歩、女性 5,509 歩 (H23) 【目標値】男性 7,000 歩、女性 6,000 歩 (H34) <p>○運動習慣者の割合 【基準値】（県民健康・栄養調査） 20～64歳 男性 31.2%、女性 28.7% (H23) 65歳以上 男性 51.6%、女性 39.8% (H23) 【最新値】（なら健康長寿基礎調査） 20～64歳 男性 34.6%、女性 35.0% (H25) 65歳以上 男性 55.3%、女性 55.2% (H25) 【目標値】 20～64歳 男性 42.0%、女性 39.0% (H34) 65歳以上 男性 62.0%、女性 50.0% (H34)</p>	<p>○奈良県健康ステーション(橿原)の運営</p>	<p>○「おでかけ健康法」普及啓発のためのセミナー等の開催 【セミナー】 ①H26.9.1(183名参加、於:リーベル王寺東館) ②H26.11.25(50名参加、於:近鉄百貨店橿原店) ③H26.11.25(91名参加、於:香芝市総合福祉センター) ④H27.1.31(136名参加、於:プリズムめぐり)</p> <p>【モニター交流会】 ①H26.4.23(44名参加、於:橿原文化会館) ②H26.11.20(19名参加、於:奈良県婦人会館)</p> <p>【「奈良県健康ステーション(橿原)」開設1周年記念イベント】 H27.3.1(200名参加、於:橿原市商工経済会館)</p>	<p>健康ステーション設置促進事業 (22,293千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも、気軽に、日常生活の中で健康づくりを開始し、実践できる拠点として県内2か所(橿原・王寺)に設置した「健康ステーション」の効果的な運営 ・健康ステーションを県内市町村に普及させるための研修会等を実施 <p>(資料3-2)</p>
		<p>○奈良県健康ステーション(王寺)の設置</p>	<p>○平成26年9月1日に、王寺町内に県内2か所目の健康ステーションを設置</p>	
休養・こころの健康	<p>○睡眠による休養を十分にとれていない人の割合（県民健康・栄養調査） 【基準値】男性 16.2%、女性 13.3% (H23) 【目標値】男性 14.6%、女性 12.0% (H34)</p> <p>○7時間睡眠の人の割合(20歳～59歳) (県民健康・栄養調査) 【基準値】 29.0% (H24) 【目標値】 31.9% (H34)</p>	<p>○「うつ病」の予防となる「おでかけ健康法」を「健康ステーション」で普及</p>	<p>○「おでかけ健康法」普及啓発のためのセミナー等の開催 【「奈良県健康ステーション(橿原)」開設1周年記念イベント】 H27.3.1(200名参加、於:橿原市商工経済会館)</p> <p>東京都健康長寿医療センター研究所 青柳 幸利 医学博士による、運動と体温と睡眠の関係や、上手な睡眠のとり方などを解説した「おでかけ健康法実践セミナー」を開催</p>	<p>○「うつ病」予防となる「おでかけ健康法」を「健康ステーション」で普及</p> <p>○「おでかけ健康法実践セミナー」の開催を通じて、運動と睡眠の重要性について普及・啓発</p>

I. より良い生活習慣をつくる				
分野	主な指標の推移および目標値	平成26年度		平成27年度の主な取組
		主な取組	実績と課題(青字は課題)	
喫煙	○成人の喫煙率 【基準値】 14.2%(H23) (県民健康・栄養調査) 【最新値】 15.0%(H25) (なら健康長寿基礎調査) 【目標値】 9.9%(H34)	○ソーシャルマーケティングの手法を用いた禁煙支援リーフレットの作成および効果検証	○喫煙者への意識調査(990人/2,000人が有効回答) 調査結果をもとに禁煙勧奨リーフレット作成 612名にリーフレット送付・効果検証	健康寿命を延長する取組推進モデル(たばこ対策分野)事業(1,450千円) ○禁煙勧奨リーフレット(H26作成)を県内の各市町村で活用および効果検証 (資料3-3)
	○未成年者の喫煙率 【基準値】 中3男子 6.5%, 女子 2.3%(H16) 高3男子 12.3%, 女子 5.3%(H16) (子どもの生活習慣病予防調査) 【目標値】 0%(H34)	○未成年者禁煙支援相談窓口を継続実施	○未成年者禁煙支援相談(H26.4~H27.2)利用者19名 利用する学校に偏りが見られるため、再度、学校への周知が必要	
	○妊婦の喫煙率 【基準値】 5.7%(H23) (県調べ) 【目標値】 0%(H34)	○妊産婦禁煙支援ガイドブックに基づいた禁煙支援研修会の開催	○妊産婦禁煙支援研修会 H26.5.1(42名参加、於:奈良県医師会館)	○市町村職員等を対象とした禁煙支援アドバイザー研修会の開催(妊産婦禁煙支援ガイドブックの活用)
	○生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合 【基準値】 男性 15.6%(H23) 女性 11.7%(H23) (県民健康・栄養調査) 【目標値】 男性 13.3%(H34) 女性 9.9%(H34)	○市町村が実施しているアルコール関連事業について調査・まとめ	○市町村の事業実施状況の把握 ・住民向けのセミナーや講演会による普及啓発(適正飲酒・アルコール依存症について) ・特定保健指導等での個別指導 ・妊娠届け出時や教室での妊婦に対する指導等	国は「アルコール健康障害対策基本法」(平成26年6月施行)に基づき、アルコール健康障害対策基本計画を策定予定 ○県では、国の基本計画に基づき、都道府県の実情に即した推進計画を策定(H28年度予定) 27年度から計画策定に向け、ワーキング会議を開催(医療政策部 保健予防課所管) 健康づくり推進課もワーキング会議に参画予定
飲酒	○毎日飲酒をしている人の割合 【基準値】 男性 27.9%(H23) 女性 6.6%(H23) (県民健康・栄養調査) 【最新値】 男性 35.0%(H25) 女性 8.4%(H25) (なら健康長寿基礎調査) 【目標値】 男性 25.1%(H34) 女性 5.9%(H34)			○アルコール関連問題啓発フォーラムの開催(内閣府事業 全国で6自治体が開催) H27.11.15(日)開催予定 (医療政策部 保健予防課所管)

Ⅱ. 生活習慣病の発症と重症化を予防する				
分野	主な指標の推移および目標値	平成26年度		平成27年度の主な取組
		主な取組	実績と課題(青字は課題)	
健診・生活習慣病	<p>○特定健診受診率</p> <p>【基準値】 25.1% (H23 国保)</p> <p>【最新値】 27.8% (H25 国保)</p> <p>【目標値】 60.0% (H29 国保)</p> <p>○特定保健指導利用率</p> <p>【基準値】 14.2% (H23 国保)</p> <p>【最新値】 16.5% (H25 国保)</p> <p>【目標値】 60.0% (H29 国保)</p> <p>○高血圧有病者の割合(市町村国保特定健診受診者50歳代)</p> <p>【基準値】 男性 29.6%、女性 19.8% (H22)</p> <p>【最新値】 男性 26.6%、女性 16.4% (H24)</p> <p>【目標値】 男性 26.6%、女性 17.8% (H34 10%減少)</p> <p>○糖尿病有病者の割合(市町村国保特定健診者50歳代)</p> <p>【基準値】 男性 9.6% 女性 3.8% (H22)</p> <p>【最新値】 男性 8.7% 女性 3.1% (H24)</p> <p>【目標値】 現状維持 (H34)</p>	<p>○市町村研修会「特定健診・保健指導のこれから」の開催</p> <p>「保健指導支援サービス」評価システムの導入(国立保健医療科学院今井氏研究事業)</p> <p>○市町村の受診率向上の取組に対し県調整交付金で支援</p> <p>○市町村で(県調整交付金で支援)</p> <p>・糖尿病等治療勧奨推進事業の実施(糖尿病患者等が直ちに医療機関を受診するよう、市町村から受診勧奨カードを送付。)</p> <p>・糖尿病等起因歯周病対策事業の実施(特定健診の結果に基づき、集団での歯科医師・歯科衛生士による口腔内審査と歯科保健指導の実施)</p> <p>○慢性腎臓病(CKD)予防対策事業の実施</p> <p>・住民への講演会の実施</p> <p>・協会けんぽとの連携会議</p>	<p>○各市町村の特定保健指導等の評価分析を統一的に実施</p> <p>H26.5.20(79名参加、於:奈良県市町村会館)</p> <p>H26.8.7、8(53名参加、於:奈良県図書情報館)</p> <p>H27.1.16(56名参加、於:奈良県市町村会館)</p> <p>○特定健診未受診者への受診勧奨や、休日における集団健診の実施等受診率向上の取組に対し県調整交付金で支援</p> <p>○糖尿病等治療勧奨推進事業実施市町村 <14市町村(大和高田市・御所市・生駒市・葛城市・宇陀市・平群町・三郷町・安堵町・川西町・王寺町・広陵町・吉野町・下市町・黒滝村)></p> <p>○糖尿病等起因歯周病対策事業実施市町村 <3市町(御所市・宇陀市・平群町)></p> <p>実施市町村が少ない</p> <p>○慢性腎臓病予防対策連絡会議の開催(各保健所)</p> <p>CKD講演会を実施(各保健所)</p>	<p>特定健診受診率向上事業(500千円)</p> <p>・各市町村の保健指導プログラム等を充実し、効果的な特定保健指導を実施できるよう研修会を実施</p> <p>・市町村が健康・医療情報を活用した保健事業計画(データヘルス計画)を策定できるよう支援</p> <p>・受診率向上の取組に対し、県調整交付金で財政的支援</p> <p>市町村の重症化予防の取組に対し、県調整交付金で財政的支援</p> <p>・糖尿病等治療勧奨推進事業の継続実施</p> <p>・糖尿病等起因歯周病対策事業実施市町村の拡大</p> <p>生活習慣病重症化予防対策事業(470千円)</p> <p>・市町村の糖尿病や腎臓病等の重症化を予防する取組を推進</p> <p>・慢性腎臓病の啓発のための住民への講演会の実施(保健所・市町村・全国健康保険協会等が連携し実施)</p>

II. 生活習慣病の発症と重症化を予防する				
分野	主な指標の推移および目標値	平成26年度		平成27年度の主な取組
		主な取組	実績と課題(青字は課題)	
がん 検診受診率向上・知識普及と意識啓発	<p>○75歳未満のがん年齢調整死亡率 (人口動態統計)</p> <p>【基準値】 80.0人(H23) 【最新値】 80.1人(H25) 【目標値】 70.0人(H29)</p> <p>○がん検診受診率(国民生活基礎調査)</p> <p>【基準値】 胃がん 29.3%(40~69歳) 肺がん 20.2%(40~69歳) 大腸がん 24.7%(40~69歳) 子宮がん 35.7%(20~69歳) 乳がん 35.7%(40~69歳) (H22)</p> <p>【最新値】 胃がん 37.2%(40~69歳) 肺がん 35.5%(40~69歳) 大腸がん 35.8%(40~69歳) 子宮がん 39.2%(20~69歳) 乳がん 39.4%(40~69歳) (H25)</p> <p>【目標値】 50.0%(H29)</p>	<p>○健康寿命を延長する取組推進モデル(がん検診受診率向上対策分野)事業の実施(天理市、五條市、川西町、王寺町)</p> <p>天理市:5がん検診の個別受診勧奨と効果的な普及啓発事業 五條市:がん検診受診の市民実態調査と効果的対策の検討 川西町:大腸がん検診個別受診勧奨・再勧奨 王寺町:子宮がん・乳がん検診個別受診勧奨・再勧奨</p> <p>○がん予防推進員養成講座の開催(天理市、香芝市、宇陀市、下市町)</p>	<p>○個別受診勧奨・再勧奨等を実施したモデル市町の受診数は増加している。年度内には効果検証を実施</p> <p>○意識調査からモデル市の職域を含めたがん検診受診率が把握できた。また既に実施している取組の効果検証及び今後の対策を検討</p> <p>○がん予防推進員を119人養成(天理市44名、香芝市32名、宇陀市36名、下市町7名)</p>	<p>健康寿命を延長する取組推進モデル(がん検診受診率向上対策分野)事業(27,131円)</p> <p>○受診率向上対策モデル事業の実施 がん検診受診率向上に向けた効果的な対策を市町村、県、専門家の協働により県内9市町(継続4市町及び新モデル5市町)で展開</p> <p>○26年度モデル事業の報告会を開催(成功事例の県内市町村へ波及)</p> <p>がん検診推進事業(5,900千円)</p> <p>○「がん予防推進員」養成を県内2市町村で実施 「がん予防推進員」フォローアップ研修会の開催(4市町)</p> <p>(資料3-4)</p>
	<p>○「がん検診を受けよう！」奈良県民会議・総会の開催 ・奈良県民会議会員による街頭啓発 ・公開講演会の開催「がんのひみつ」</p>	<p>○「がん検診を受けよう！」奈良県民会議 ・総会 参加者:会員160人 ・街頭啓発 啓発者:100人 啓発グッズ1,600セット配布 ・公開講演会 参加者:会員160人、一般県民190人</p>	<p>○「がん検診を受けよう！」奈良県民会議推進事業 ・10月10日(土曜日)の県民会議総会の開催 がん検診に関する知事表彰 がんの専門家による講演会等 ・県民会議会員による街頭啓発の実施 ・啓発ツール(ポスター・ちらし等)の更新</p>	
歯・口腔の健康	<p>○歯科医師による定期的なチェック(1年に1回)を受けている人の割合(20歳以上) (なら健康長寿基礎調査)</p> <p>【基準値】 男性33.0%、女性39.6%(H23) 【最新値】 男性35.2%、女性44.3%(H25) 【目標値】 男性50.0%、女性50.0%(H34)</p> <p>○40歳で進行した歯周炎を有する人の割合 (歯周疾患検診実績報告)</p> <p>【基準値】 42.7%(H23) 【最新値】 45.6%(H25) 【目標値】 30.0%(H34)</p>	<p>○市町村歯科口腔保健検討事業 ・保健所による地域診断と効果的な施策実施のための支援</p> <p>○産科医療機関への歯科衛生士派遣 (妊婦の歯科口腔保健指導)</p> <p>○糖尿病等起因歯周病対策事業の実施(再掲)</p>	<p>○歯科検診等、妊婦を対象とした市町村の取組が充実傾向</p> <p>○歯科口腔保健に関する県民の関心を高め、市町村における取組を進めることが課題</p> <p>○糖尿病等起因歯周病対策事業実施市町村(再掲) <3市町(御所市・宇陀市・平群町)> 実施市町村が少ない</p>	<p>歯科保健推進事業(5,260千円)</p> <p>・県、市町村、歯科医師会担当者等により、県民に対する効果的な普及啓発方法について検討 ・歯科口腔保健に関する講習会の開催</p> <p>糖尿病等起因歯周病対策事業実施市町村の拡大(再掲)</p>

Ⅲ. その他				
分野	主な指標の推移および目標値	平成26年度		平成27年度の主な取組
		主な取組	実績と課題	
健康づくりがしやすいまちづくり	<p>○健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている人の割合 (なら健康長寿基礎調査)</p> <p>【基準値】 15.9% (H24) 【最新値】 17.0% (H25) 【目標値】 17.5% (H34、10%増加)</p>	<p>○地域の健康まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県健康ステーション(橿原)の運営(再掲) ・奈良県健康ステーション(王寺)の設置(再掲) 	<p>○健康ステーションの設置・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おでかけ健康法」普及啓発のためのセミナー等の開催(再掲) 【セミナー】 <ul style="list-style-type: none"> ①H26.9.1(183名参加、於:リーベル王寺東館) ②H26.11.25(50名参加、於:近鉄百貨店橿原店) ③H26.11.25(91名参加、於:香芝市総合福祉センター) ④H27.1.31(136名参加、於:プリズムめぐり) 【モニター交流会】 <ul style="list-style-type: none"> ①H26.4.23(44名参加、於:橿原文化会館) ②H26.11.20(19名参加、於:奈良県婦人会館) 【「奈良県健康ステーション(橿原)」開設1周年記念イベント】 <ul style="list-style-type: none"> H27.3.1(200名参加、於:橿原市商工経済会館) ・平成26年9月1日に、王寺町内に県内2か所目の健康ステーションを設置(再掲) 	<p>健康ステーション設置促進事業(再掲) (22,293千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも、気軽に、日常生活の中で健康づくりを開始し、実践できる拠点として県内2か所(橿原・王寺)に設置した「健康ステーション」の効果的な運営 ・健康ステーションを県内市町村に普及させるための研修会等を実施 <p>○健康ボランティア等の人材活用の推進に対し、県調整交付金で財政的支援</p> <p>健康長寿情報発信事業(1,518千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○すこやかネットなら <ul style="list-style-type: none"> 事業成果やイベント等の情報を適宜更新 ○健康づくりに関する県の取組を広く県民に啓発するための情報誌を発行
		<p>○人材開発</p> <p>健康ボランティア等の人材活用の推進について、県調整交付金で財政的支援</p> <p>○情報提供</p> <p>すこやかネットなら</p>	<p>○健康ボランティアの養成・活用等について県調整交付金で財政的支援:4市町村</p> <p>○すこやかネットなら</p> <p>事業成果やイベント等の情報を適宜更新 アクセス数 59,306件(H26.4~H27.2)</p>	

Ⅲ. その他				
分野	主な指標の推移および目標値	平成26年度		平成27年度の主な取組
		主な取組	実績と課題	
介護予防	<p>○介護予防事業実施市町村数 (参加者割合が全国平均以上)</p> <p>【基準値】一次予防事業 15市町村(H23) 二次予防事業 21市町村(H23)</p> <p>【目標値】増加(H34)</p>	<p>○介護予防市町村研修会の開催</p> <p>○市町村等介護予防事業研修会の開催 介護予防担当者の資質向上を図るため 研修会を開催</p> <p>○県と後期高齢者医療広域連合による実行委員会で歯科口腔・運動・栄養等について保健巡回指導を実施</p> <p>なお、高齢者の誤嚥防止と身体機能の向上を目的として「誤嚥にナラン!体操」を考案し、市町村介護予防教室などにおいて、実践と効果検証を展開</p>	<p>○介護予防市町村研修会の開催 H26.10.14(90名参加、於:奈良商工会議所)</p> <p>○市町村等介護予防事業研修会の開催 H27.3.23(予定)(於:奈良県社会福祉総合センター)</p> <p>○保健巡回指導の実施 H26年度(H26.2.24現在) 119回実施</p>	<p>介護予防市町村支援事業 (587千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村、地域包括支援センター等の担当者に対して「介護予防」の効果的な展開を図るため研修会を実施 <p>⑨健康づくりによる介護予防推進支援事業 (1,400千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル市町村が住民運営の通いの場を充実し、地域づくりによる介護予防を推進するため、国と県が連携し支援(5市町村) <p>県と後期高齢者医療広域連合による実行委員会で歯科口腔・運動・栄養等について保健巡回指導等を実施(健康福祉部 保険指導課所管) (10,000千円)</p>